

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公開講座「プログラミングってなんだ。とりあえずやってみよう。」に関わる教員及び学生(以下、スタッフ)は、不断から以下の点に注意し、健康管理に努めて参ります。

1. 日常生活の過ごし方

- (1) 少しでも風邪症状や味覚・嗅覚の異常があれば、自宅で静養する。
学生は、このような症状があるときはアルバイト等の外出はしないで自宅で静養する。
- (2) 毎日の検温を含め体調管理に努め、健康状態やその日の行動を記録する。
- (3) 外出する時はマスクを着用し、対面でマスクなしに会話をしない。
- (4) 外出中は、意識して人との接触を減らし、人との距離を2m以上とるようにする。
- (5) 換気が悪く、人が密に集まって、運動や飲食をして過ごすような場所には集まらない。
- (6) 咳エチケットを守る。
- (7) 建物に出入りする時、調理や食事をする時、帰宅時などに、石鹸で手を洗うかアルコールで手指を消毒する。

2. 公開講座スタッフの参加

- (1) 緊急事態宣言発令期間中の各対象地域に居住しているスタッフは参加できない。
- (2) 公開講座当日から2週間前以内に発熱や咳、だるさ(倦怠感)、頭痛、腹痛(下痢)、体調不良、呼吸困難、嗅覚・味覚異常等の諸症状があったスタッフは参加できない。
- (3) 公開講座当日の朝、スタッフ全員の検温を行い、健康チェックカードに記入し管理する。

3. 公開講座中の対応

- (1) マスクを着用するなどして飛沫対策を行う。
- (2) こまめに手洗い・うがいを励行する。
- (3) 手洗い後のタオルやハンカチは共用しない。
- (4) 近距離での会話や発声、高唱は、避ける。
- (5) 身体的距離を基本的に2m(短時間でも最低1m)は保つようにする。
- (6) 実験室は1時間ごとに換気する。
- (7) 実験室は間隔をあけて着座し、スペースを広くして使用する。